

〈令和6年度〉ミライカナエル活動サポート事業 スタート支援コース

団体名	特定非営利活動法人育ち合い広場・てとてとて
事業名	てらこやわははプラス
事業費	191,770円（うち藤沢市補助金 127,000円）

事業の目的

地域の子育て中の親が孤立しないよう、気軽に立ち寄れる世代を超えた交流の場づくりを行う。先導役は各々の得意分野を発揮し、地域で子ども達を見守り、育ち合える環境を整える。

事業の内容と成果・効果

〈事業の内容〉

・てらこやわははプラスの実施
週に1回開催している放課後の居場所内で、地域の大人が自分の得意分野で可能性に挑戦する（講座を実施する）ためのコーディネートを実施。（8月～3月 計24回実施）

～実施内容のご紹介～



「お月見団子づくり」実施
参加者：
大人5名+子ども5名
お月見団子づくり、
三方づくりを行い、
日本の行事十五夜を継承。



「パステルでカラーセラピー」
参加者：大人8名+子ども3名
幼児連れの親子、高校生、80代と、
幅広い年代の方が参加され、それぞれの
選んだ色から分かる性格などを聞き合い、
世代を超えて会話を楽しんだ。



「大人の学び直し英会話」
参加者：大人3名
・外国人住民や旅行者との
交流に役立つ英会話を学んだ。
・先導役は幼児連れでも
集中して行っていた模様。
・参加者も幼児連れが多く、
子連れでも気軽に学べる
環境を提供できた。

〈成果・効果〉
得意分野で自分の可能性に挑戦する講師（先導役）として、延べ24名（実人数16名）の地域の方が、講座を実施した。その場に、計232名の大人、291名の子どもが集い、多世代多様な人との関わりが出来る場となり、わはは（居場所）へ通う子どもたちが多様なヒト・モノ・コトと触れ合う場になった。また、参加者へのアンケートからは、「自分の得意分野で地域貢献できたことがうれしい」といった声や「この活動が、地域の人々の繋がりの源泉になっていると感じた」といった声をいただいた。

事業を実施しての課題・3年後に叶えたいミライ

〈事業を実施しての課題〉

- ①先導役（講師）と地域住民（講座参加者）のニーズの不一致⇒アンケート等で地域住民のニーズ収集
- ②大人の参加者が増えず、収支バランスを検討する必要がある⇒先導役の登録料、謝礼額、仕組みの見直しを行う。
- ③材料費がかかり、子どもが参加しづらい講座があった。⇒大人からの寄付の仕組みを検討

〈3年後に叶えたいミライ〉

子どもも大人も自発的な活動を通じて繋がれるまちづくり。十人十色の得意分野を活かせる場を作る。そのために…

- ①てらこやわははプラス事業を改善しながら継続する。（要望の把握・情報発信等）
- ②学びたいことがある人が企画を提案し、人数を集め、講師を招く積極的な学びの場「てらこやわははプラスプレミアム」を実施する。
- ③無料で参加できる「子ども達向けプラス」の企画を検討